

公益財団法人 第五福竜丸平和協会 平成22年度事業計画

本年度は、公益財団法人としての最初の年度（1年全期間を通しての）である。核兵器不拡散条約再検討会議が開催され、核兵器のない世界への弾みがつくか注目されている。

1. 公益目的事業

東京都の受託事業としての第五福竜丸展示館の管理・運営が当法人の基本的な事業である。開館日は、定められた休館日を除き308日となる。

引き続き、団体見学を含む全ての来館者に対するガイド・解説を実施する。地元江東区の児童館、図書館、学校への資料配布を行うほか東京都教職員組合などにも案内を送る。展示館での行事の開催・広報を来館者の増加につなげる。

本年最初の企画展として「<原爆の子>片岡脩 平和ポスター展」を5月9日から8月15日まで開催する。

初日の5月9日に、コンサート「原爆小景—ヒバクシャとともに」（指揮・林光）を第五福竜丸展示館内で開催する。

企画展の第2回目は、第五福竜丸事件当時の各地方新聞での報道内容などを集めたものとし秋に開催する。

新しく制作した展示パネルセットを活用して第五福竜丸事件に関わる巡回展の開催を積極的に進める。

当法人及び第五福竜丸展示館が所蔵する文献・現物資料・物品の整理・リスト化、新規資料の系統的な収集に引き続き努める。第五福竜丸事件に関する『ニューヨーク・タイムズ』の報道など、海外の資料の収集も行う。

3・1ビキニデーを記念する集いを開催する。

『福竜丸だより』については、今後は原則として隔月刊（ページ数を倍増）とする。第五福竜丸につながる各分野の新しい方々に積極的に執筆をお願いする。

2. その他の事業

図録『写真でたどる第五福竜丸』、『都立第五福竜丸展示館30年のあゆみ』、『フィールドワーク第五福竜丸展示館』、“Daigo FUKURYU Maru”（英文冊子）など、当財団の最近の出版物、制作物、その他記念品等の販売普及に努める。